

尼崎市教育委員会 8月定例会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和6年8月26日 午後3時31分～午後5時40分

2 出席委員及び欠席委員

出席委員等	教育長	白畑 優
	教育長職務代理者	徳山 育弘
	委員	太田垣 亘世
	委員	中平 了悟
	委員	正岡 康子

3 出席した事務局職員等

教育次長	安田 博之
教育次長	東 政信
管理部長	佐々木 修
学校教育部長	渡邊 明美
教育総合センター所長	嶋名 雅之
社会教育部長	橋本 貴宗
社会教育部参与	高橋 利浩
企画管理課長	伊元 俊幸
職員課長	西川 欣伸
学校教育課長	澤田 慶太
学びの多様化学校設置準備担当課長	石井 郁樹
社会教育課長	吉岡 辰郎

日程第1 議事録の承認

日程第2 議事

- (1) 議案第39号 職員の人事について

日程第3 協議・報告

- (1) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
(2) 学びの多様化学校の設置準備に係る現在の検討状況等について
(3) 尼崎市学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

日程第4 教育長の報告と委員協議

午後3時31分、教育長は開会を宣した。

白畑教育長 これより尼崎市教育委員会8月定例会を開催いたします。現在の出席委員は全員が出席となっております。出席委員は過半数に達しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項」に基づき委員会は成立いたしております。議事録署名委員の指名を行います。議事録署名委員は、会議規則第12条の規定により、教育長において太田垣委員を指名します。本日の日程につきましては、配付いた

しております日程表のとおりです。日程第2「議事」の「議案第39号 職員の人事について」は、会議規則第6条の2第1項第1号、すなわち『教育委員会に属する職員の任免その他の身分取扱に関する事件』に該当するため、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし。

白畑教育長 よって、「議案第39号」は、会議規則第6条の2第1項第1号に該当するため、公開しないことと決しました。次に、日程第3「協議・報告」の「学びの多様化学校の設置準備に係る現在の検討状況等について」は、意思形成過程等の内容が含まれますので、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし。

白畑教育長 異議なしと認めます。また、「協議・報告」の「尼崎市学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」は、内容に個人情報が含まれますので、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし。

白畑教育長 異議なしと認めます。よって、「協議・報告」の2件も、会議規則第6条の2第1項第4号、すなわち『教育長または委員から会議の公開が不相当であるとの発議のあった事件』に該当するため、公開しないことと決しました。なお、公開しないことと決しました案件については、日程第4の「教育長の報告と委員協議」の後に審議することといたします。それでは、これより日程に入ります。まず、日程第1の「議事録の承認」についてでございます。7月定例会の議事録につきましては、先般、事務局より送付しておりますとおりです。内容に質疑等がありますでしょうか。質疑がないようですので、これよりお諮りいたします。7月定例会の議事録を承認することに異議ございませんか。

教育委員 異議なし。

白畑教育長 異議なしと認めます。よって、7月定例会の議事録を承認することにいたします。議事の関係で教育長の報告と委員協議を先にさせていただきたいと思っております。

企画管理課長 企画管理課長でございます。「教育委員会8月定例会報告事項」について、ご報告いたします。

まず、総務関係でございます。7月25日に、第3回教育振興審議会を開催しました。また、7月30日に、「阪神7市1町教育委員会連合会総会及び研修会」が開催され、徳山委員、正岡委員にご出席いただきました。また、8月22日から23日にかけて、「全県夏季教育委員会研修会」が開催され、徳山委員、太田垣委員、中平委員、正岡委員にご出席いただきました。

次に、学校教育関係でございます。7月30日に、「尼崎市スマホサミット2024」を開催し、児童生徒がスマートフォン等の使用に関わるルール作りについて、学びを深めていきました。また、8月1日に、「全国・近畿中学校総合体育大会出場選手壮行会」を開催しました。市立中学校からは、全国へ5校、近畿へ9校の出場となりました。

次に、社会教育関係でございます。7月25日より順次、七松小学校、小園中学校、大島小学校、園田東小学校で第1回学校運営協議会を開催しました。

最後に、今後の主要行事予定でございます。9月13日に、「市町村教育委員会研究協議会」が大阪で開催予定でございます。議会関係につきましては、9月11日に文

教委員会、20日に決算特別委員会が予定されています。また、日程は未定ですが、一般質問につきましても予定されています。教育委員会9月定例会につきましては、9月24日15時30分からの開催で予定しています。報告は以上でございます。

白畑教育長 報告は終わりました。報告内容に質疑はありませんか。

徳山委員 ここには出てきていませんが、尼崎市民マラソンはいつしますか。

安田教育次長 11月23日に記念公園でリレーマラソンを実施予定ですが、詳細は決まり次第お伝えします。

中平委員 スポーツ関係の事業や人権教育、社会関係の取り組みは行われなかったのでしょうか。

安田教育次長 8月17日に大庄健康ふれあい体育館の説明会を実施したり、18日日曜日と先週22日木曜日には資産統括局と共同で新図書館のタウンミーティングをしたりしています。また、県と歴史博物館が共同して、塚口本町の池田山古墳の報告会を8月10日に実施しております。

中平委員 コミュニティースクールの設置に尽力いただいているということは、承知していますが、公民館等が無くなったとはいえ、社会教育面に関しても教育委員会として取り組んでいただきたいなと思っております。私が生涯学習審議会にいた時も、公民館が生涯学習プラザに移管されたが、市として社会教育・人権教育の取り組みが後退しないようにというのが課題として提示されてきました。その審議会の対象は地域課も社会教育課も入っていて、社会教育課としても体制は変わるが、社会教育・人権教育の取り組みをしていただく課題は担っていただいていると思っております。その部分を積極的に取り組んでいただけたらと思っております。その中でどういうものに取り組みれたかと報告をして欲しいというよりも上がってこないということが軽いのかなというふうに思っています。その辺り可視化できるようにお願いします。鋭意盛り上がるように取り組んでいただけたらと思っております。

太田垣委員 ここに学校運営協議会が記されているのは第1回だからということですか。

企画管理課長 そうです。

徳山委員 何を載せるのか載せないのかというルール作りはありましたか。今聞いた話は以前は載っていたような気もしています。

安田教育次長 社会教育関連の記載が少し不足していますので、今後、しっかりと記載するよういたします。

白畑教育長 他に質疑がないようですので、教育長からの報告を終わります。次に日程第3「協議・報告」の「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。澤田学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が、7月の末に出ましたので、ご報告をさせていただきます。

まず資料上の方にあります、調査の目的についてでございます。全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証するということ、そしてその改善を図る。また、学校におきましては、児童生徒への指導の充実や学習状況の改善等に役立てるといったところがございます。また、調査日につきましては、令和6年4月18日木曜日に悉皆調査で行いました。下には教科毎の調査人数の方をお示ししております。調査人数が若干違いますのは、例えば特別支援学級のお子様、質

問紙調査は受けることができたが、教科のテストは受けられなかったというようなこともありますので、人数が揃っているわけではございません。またご覧おきください。

次に本市の全国の平均正答率及び平均正答数と比較を見て参ります。令和5年度の小学校は、国語、算数ともに0ポイントとなりましたが、令和6年度、国語がマイナス1ポイントになったものに対しまして、算数が1ポイントプラス。プラス1ポイントになったのも初めてでございます。下には、令和3年度から令和6年度までの推移の方をグラフにてお示ししております。また、中学校では、国語でマイナス3ポイント、そして数学、これも初めてのことでございますが、0ポイント、全国の平均と比較しても、0ポイントになったのも初めてでございます。小学校同様に下に、令和3年度からの推移の方をお示しておりますのでまたご覧おきください。

小学校中学校、右に全国を上回った問題。また課題があった問題というふうに、文言にてお示ししておりますが、その下に詳しく問題の方を挙げています。

まず、小学校国語において全国を上回った問題でございます。目的や意図に応じて、日常生活から話題を決め、伝え合う内容を検討できるかどうかということを見る問題でございました。問題の詳細につきましては、このように、海風小の和田さんの学級、深緑小学校の取り組みをオンラインで紹介し合うということになっております。そして、紹介し合う前に、深緑小学校の村木さんという方から、事前に海風小学校の和田さんにメールが届きました。そのメールの内容を見て、翌日、情報交換をし合うことになっていきますので、こちらの和田さんは村木さんからのメールを受けて、紹介する内容をメモに整理をしました。そして、和田さんの作ったメモを見て、和田さんはどのようなことに注意しながら、このメモを整理しているのかということ、下の四つの中から選ぶ問題となっています。このように2人のやりとりを見て、和田さんがどのようなことを意識しながらメモを作っているのかという問題については、本市の小学生の子供たちは出来ておりました。

続いて、課題があった問題についてご説明致します。文の中における主語と述語の関係をとらえることができるかどうかということを見る問題でございました。松居スーザンさんの「オニグモじいさんの朝ごはん」という長い文章を読みながら、そしてこの物語の中の一部を取り上げて、最後の「輝いています。」というところの主語を答えなさいという問題におきましては、全国と比較して課題がございました。

続いて小学校の算数でございます。小学校の算数でできているところでききますと除数が少数である場合の除法の計算をすることができるかどうかという問題です。350キロある米を1人に7kgずつ配った場合、このような図になります。そして、このお米350kgのお米を1人0.7kgずつ配った場合を考えました。そして、単純に350割る0.7をしてその答えを求めなさいということではなく、0.7kgずつ配った場合は7kgずつ配った場合と比較して、50人より多いのか少ないのか、また、その商50より大きいのか小さいのかという数の概念、単純に「計算をきなさい」というだけではなくて、大きいか小さいのかというところ、数の概念を聞かれるという問題については、本市の子供たちは出来ておりました。

小学校算数で課題のあった問題でございます。直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかという問題では、直径が10cmの円柱があります。このように開いた展開図。長方形の横の長さは円柱の底面の円周の長さと同じになりますというところが理解できているのかどうかを見る問題でございます。画面下の方に行きますと展開図が4つ出てきます。この4つの展開図から正しいものを選んで答えるというところでございます。

続いて中学校の国語に移らせていただきます。本市の生徒ができた問題は必要に応じて質問しながら話の内容をとらえることができるかどうかということを見る問題でございました。インターネットをしていると自分の興味があるものばかりが出てくるといったフィルターバブル現象というものの資料を見て、山岡さんたちは国語の時間にフィルターバブル現象の資料をもとに、グループで話題を決めて話し合うという場面が設定されています。その下に行きますと、藤田さんが、インターネットで和菓子づくりの本を探して購入し、その後インターネットを利用する度に和菓子づくりに関する本が表示されるようになって、次に読みたい本もすぐに見つかったというような、藤田さんはこのフィルターバブル現象の良い点を上げているのですが、今井さん

はたくさん本がある中で自分の好みに合った本を選んで示してくれるのは便利だが、他の本の情報に触れにくくなっているということを感じませんかという問いを投げかけ、そして今井さんの発言はどういった意図で発言したものかということ問われる問題については、本市の生徒はできておりました。

課題のあった問題としましては、国語の教科書の書写の教科書を選定するときに、行書の特徴というものが出てきたと思います。この行書の特徴を理解しているかどうかを見る問題。このア～エについて、その部分の特徴を説明できているものを選びなさいという問題はできておりませんでした。

続いて中学校の数学でできている部分は、等式を目的に応じて変形することができるかどうか、これは基礎的な問題ですが、本市の生徒はできております。一方でできていなかった問題としましては、与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかを見る問題については課題がございました。このように、カイトさんとサキさんについては、安全性を高めるために、センサーで障害物を感知して止まる自動車に興味を持った。そして車型ロボット用のプログラムを活用し、実験を行いました。この10cmの位置から進んだ距離を20回実験したのですが、その10cmの位置から進んだ距離について20回の実験結果ができます。20回の実験結果から、この10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求めなさいという問題については課題がありました。これについては、最頻値という言葉を理解できていない可能性もございます。このように各教科、小学校中学校において、各教科でできている問題できていない問題を言葉で示しているのが、先ほどの表のところになります。

続きまして質問調査について、分析の方をしております。まず、昨年度と同様自己肯定感と自己有用感、この2つのポイントに着目をしてきました。昨年度も上がってきているとご報告をさせていただきましたが、今年度についても、さらにポイントとしては増加している状況でございます。ただし、上に点線で全国を比較しております。まだ全国に届いてないところもありますけれども、このように、本市の自己肯定感・自己有用感については、上がってきているというところが見えております。報告用紙を載せておりませんが、やはり自己肯定感、自己有用感が高い子供の平均正答率は高い傾向にございます。

続いて、これも昨年度と同様のポイントでございます。主体的対話的で深い学びという観点で、各教科で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っているかという問いに対して、肯定的に回答している子供と平均正答率にはそのように差が出てきます。ですので、そのあとに、黄色の網掛けのところ少しメッセージを残していますが、やはりこういうふうな様々な教科で学んだことを組み合わせ、新たな学びに生かすことができる。自分の考えをまとめる活動というのが大事ですよねというところをお示ししております。

今年度新しく着目した部分については、学習でのICT機器の活用のところでございます。このように、左上にあります、横に水色の棒で伸びているグラフ、これは学校に対して質問した問いになります。対象学年の児童に対して、次の場面では、ICT機器をどの程度活用させていますか、使用させていますかというふうに学校に聞いたものについて、週1回以上と答えた学校の割合を示しております。水色の部分が小学校になります。そして少し下の方に行かせていただいて、右の下にあります緑色のグラフが中学校になります。自分で調べる場面についてはやはりICTをしっかり使って、100%の学校で活用できていると、私たちが注目したのはその次でございます。自分の考えをまとめ、発表表現する場面で使えているかということでは、小学校で90.2、中学校で76.5という結果でした。そして右の方にあります。縦に伸びているグラフについては、子供が自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができるという問いに対して肯定的に答えた児童生徒の割合。そして、やはり肯定的に答えている児童生徒、共に平均正答率では、このように差が出てくるということもございます。また、今年度からAI型の学習、デジタル学習ドリルを導入しております。その小学校中学校ともに、自分の特性や理解の進度に合わせて課題に取り組む場面では小学校で87.8、中学校では70.7というふうなところで、まだ数字としては今後上昇を目指していかなければいけないところですが、やはりこのように自分のペースで理解しながら学習を進めることができるという問いに対して肯定的に答えた児童生徒につ

きましては、平均正答率も高い傾向がございます。学校に対しましては、よりこのデジタルドリル、eライブラリーを積極的に活用するよう、今後働きかけていきたいと考えております。調査結果につきましては、明日の政策推進会議、また、そのあとの議会へ説明し、9月、すべての報告が終わった後公表したいと考えております。資料といたしまして、あまっこステップアップ調査の結果につきましても、昨年度3月ですでに報告しているものとして、おつけしておりますので、またご覧ください。以上で報告を終わります。

白畑教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

徳山委員 中学校数学が平均に並ぶことができたのはなぜでしょうか。中学校で取り組んでいることがあるのでしょうか。

学校教育課長 昨年度から地道に取り組んできたことや、教科研がしっかりとあまっこステップアップ調査・全国学力・学習状況調査の分析をしながら考えて取り組んでいくという雰囲気醸成されてきています。また、無回答率が減ってきており、子供たちが粘り強く諦めないというところも挙げられると考えられます。

太田垣委員 本市の生徒ができていないという線引きはどのようにしているのでしょうか。

学校教育課長 全国の平均正答率と比べて、本市の生徒がプラスになっている問題を○で、全国の平均正答率よりも課題になった問題を挙げさせていただいています。

太田垣委員 生徒たちは一つ一つの問題に対して、平均であるのか、平均以下であるのかは分かるようになっているのでしょうか。

学校教育課長 個人の表で分かるようになっています。

正岡委員 尼崎市でのタブレットの活用について、初期の頃に比べて活用の度合いが増えていると思いますが、現状について教えていただけますか。

学校教育課長 導入当初は操作性、壊したらどうするのか、目的外に使用した場面ではどうするかという生徒指導的な場面での懸念事項多く挙げられていましたが、その頃と比べると、子供達も自分たちで自制しながら学習し、持ち帰り、活用については進んでいるものというふうに考えておりますし、また、教師も使わせようというところから、ICT機器を使わした場面の方が子供たちの学びが深まるのか、それとも紙で考えさせた方が良いのかという学習効果に対しての使い方が、整理されてきているということもございますし、また小学校においては状況に応じたICT機器の使い方、効果的な使い方というのが進んできているものと認識しております。持ち帰りにつきましては、全校で持ち帰り、個に応じた課題に取り組むものというところで取り組みが進んでいるものと認識しております。以上でございます。

太田垣委員 本市の生徒が点数の悪かった問題の要因として、最頻値という言葉にあるのではないかというご指摘がありました。教科書によってこの語彙が出てくるのか出てこないのかという不利な環境にあったということではないですか。

学校教育課長 この最頻値という単元は、新たに出てきたところでもございます。教科書に載っている載っていないの差では無く、子供たちが言葉の理解、大人でしたら頻度の頻という字から、多い数字を選べばいいのではないかと想像すると思いますが、子供たちは「最頻値聞いたことない」で終わっているという可能性があることを危惧しています。最頻値という言葉を理解しているが、誤答をしてしまったという方もいらっしゃると思いますので、教科の特性と言葉の部分について、調査、分析していく必要がある

と考えています。

東教育次長 解説書には関係のある指導要領の単元として、小学校のデータの読み取りの中で、中央値や最頻値は6年生で習っているはずで、解説書にも6年生の単元に関係があるというのが出てきています。

正岡委員 誤答の中でどれが1番多く間違えられて、どれが1番選択されたのかを分析していただくのも良いかもしれませんね。

学校教育課長 結果については報告という形で公表させていただくものですが、学校に対しましては、子供たちの結果から、自分たちの授業改善にどうつなげていくのかが大事になってきますので、どのような授業改善が必要なのかというところを、また資料を作って学校にお示ししていくという流れになります。

白畑教育長 他に質疑はございませんか。質疑が無いようですので本件についての報告は終わります。それでは、ここからは非公開といたします。

~~~~~以下 議事の要旨は非公開とする~~~~~

(「議案第39号」の内容については、職員課が別途作成)

白畑教育長 以上を以って、本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして、尼崎市教育委員会8月定例会を閉会といたします。

以上、尼崎市教育委員会8月定例会の議事の全部を終了したので、午後5時40分、教育長は閉会を宣した。

尼崎市教育委員会8月定例会において、以上のとおり議事が行われたことを記録します。